

式辞

まずは、新入生の皆さん、おめでとうございます。本校へのご入学を心から歓迎いたします。また、本日の入学式にご参加頂きました保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。「誠に、おめでとうございます」。

本日は、この場を借りて、専門学校における自己学習の大切さについてお話をさせて頂きたく存じます。本校の理学療法学科、作業療法学科、看護学科のいずれの学科でも、基礎分野から専門分野の教育までにはたくさんの授業科目があり、例えば、看護学科の教科書を積み重ねると、90cmほどの高さになります。それほど膨大な学習量となっていますので、毎日授業をきちんと受講して頂くだけでなく、自宅における自己学習も必要になってきます。

自己学習には、皆さんご存知のように、予習や復習があります。予習は予め教科書や資料を読むことで、理解度を高める自己学習です。ただ、なかなか時間がかかり、大変だと感じてしまう学生さんが多いのが現状です。

一方、復習は学習した内容を確認し理解を深める、さらには、知識の定着には望ましい学習方法です。したがって、どちらかといえば、医療系の学びでは、復習中心の自己学習が望ましいと感じます。そこで、まずは質問の重要性が考えられます。

自己学習をして行く上でポイントは、授業で理解ができなかったことをどうするかです。疑問点を長く放置すると、毎回の授業でそれらがどんどん溜まってきてどうすることもできなくなり、ついには学習意欲さえ低下してしまいます。ですから、できるだけ早い段階で疑問点を解決する行動を皆さんに期待します。そのためには、まずは教員に質問をして下さい。何回、何十回、何百回と質問しても構いません。

ただ、こんなこともわからないとか教員から嫌われてしまうと考えると、質問を遠慮しないで下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥（末代の恥）」という言葉がありますように、教員にどんどん聞いて下さい。それを続けていけば、次第に理解力が高まり、質問回数も徐々に減少してきます。

また、クラスメートや先輩に聞くということも良い方法かと思われれます。これには、クラスメートと共にグループ学習をしておくことが良いと思われれます。仮に自分だけが理解できなくても、理解しているクラスメートから教わったり、別のことでは逆に教えたりすることができ、互いに理解が進みます。もしグループ全員が互いに説明できなかつたら、みんなで教員室に質問にきて下さい。だれかが理解できるまで質問して頂ければ、その後、また、グループ学習をうまく続けられるでしょう。

教員と学生の距離が近い本校では、質問の個別対応は、最も得意とすることです。事実、皆さんの先輩学生の中には、グループ学習を1年生から進めている学生達もいます。このような積極的な学びは皆さんの自主性を伸ばす上で極めて望ましい学び方と受け止めております。

臨床実習も学びのきっかけになります。本校のカリキュラムでは、臨床実習を契機として大きく成長する学生さんが毎年現れてきます。2年生以降のカリキュラムでは臨床実習が展開されていますので、病院や施設で実際に患者さんに接することがあります。その際、「大きな衝撃を受ける」とか、「自分でなんとかしてあげたい」という思いが強くなることがあります。そのような思いは、医療職のプロを目指す学習の動機付けや自覚を高めてくれます。実習後に学習態度がそれまでとは大きく変わり、その後成績がどんどん伸びてきます。

最終学年になると、いよいよ国試対策の学習が始まります。しかし、その段階に進む前に、基礎学力をしっかりと養っておくことが重要と考えられます。本校では、最終学年の10月あたりから、特に本腰を入れて国家試験の対策をして行くこととなります。この時期の学生さんは「いよいよという意識が強くなる」ため、受験対策に真剣に取り組むようになっています。

ですから、この時期でも基礎から段階的に学び直して行くと、以前わからなかったことも徐々に理解できるようになり、成績が向上してきます。ただ、国家試験が近くなると、ゆとりがなくなったり、焦りもできたり、不安になったりしてくるでしょうから、深い学びができないことも多くなります。それゆえ、低学年からしっかり自己学習する習慣が大切です。皆さんが持っている集中力や熱意を、1年生から発揮して頂ければと願っております。

勿論、医療人育成の教育は、知識、技術、物の見方・考え方をしっかり身につけていくだけでなく、人間的にも大きく成長して頂くことも大切な教育目標となっています。その意味では、普段の授業だけでなく、私たち教職員は、課外活動や各種のイベントでも皆さんの学校生活をあらゆる面からサポートをいたします。

今日からの皆さんの3年間あるいは4年間の学生生活が充実したものになるように祈念しながら、式辞とさせていただきます。

令和6年4月5日

学校法人稲積学園

北都保健福祉専門学校長 林 要喜知